

# 令和元年度 事業報告について

## 事業概要

令和元年度の経済情勢は、穏やかな景気の回復が続くと期待されていましたが、新型コロナウイルスの影響により大幅に落ち込む状況となっています。

10月の消費税率の改正や台風19号による災害の影響があったなかで、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、イベント等の中止を始め様々な活動が停止となるなど、社会全体の経済状況も厳しさを増しています。

一方、急速に進む少子高齢化の中、高齢者の多様な社会参加の受け皿として、シルバー事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっていますが、半面で、65歳までの雇用延長に加え、国では70歳までの就業機会の確保を企業に求めるなど、シルバー事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような状況の中、台風19号の災害では、会員の中にも被害を受けた方が出たほか、「シルバー交流・農園運営委員会」が中心となって村山農園で栽培した「村山早生ごぼう」などが収穫に大きな影響を受けましたが、令和元年度は、会員の拡大を最重要課題として、須高地域に全戸配布している会報「シルバー須高」やホームページの活用、入会説明会開催回数の増、入会の迅速な承認、地域班や会員のロコミによる「会員ひとり1会員拡大」活動、役職員による事業所訪問や街頭啓発活動の実施などにより会員確保に努めてまいりました。

更に、高齢者活躍人材確保育成事業を活用して「脳体操で認知症予防」セミナーを開催し、シルバー人材センターの周知・広報を行いました。

これらの活動の結果、会員数は3月末で658人となりましたが、前年度末会員数との比較では4人の減となりました。

事業面では、請負・委任事業において公共事業が減少したことから、事業収入は309,153千円で、前年度同期比1.8%の減となりました。受注件数は、3,722件で33件の減、就業率は92.1%となりました。

派遣事業については、契約額19,153千円で、前年度同期比30.8%の増、受注件数は25件で5件の増となりました。

請負・委任及び派遣事業の収入等の合計は、328,306千円で、前年度同期比0.3%の減となりました。

安全就業につきましては、事故件数は傷害・賠償等合わせて9件の発生であり、前年同期と比較し7件の減となっています。

事故を未然に防ぐために危険予知訓練(KYT)に取り組んだほか、就業別の安全基準項目の検討会において「安全のしおり」の全面的な見直しを行い全会員に配布しました。また、例年実施している役職員の先進地視察研修では、令和元年度の全シ協定時総会で安全就業シルバー人材センター優秀賞を受賞された塩尻地域シルバー人材センターにおいて安全就業についての研修を行い、理解を深めました。

以下、主な事業等について報告いたします。